

# The 2 Chome Times 平成30年2月号

NO1のプレミアムストリートをめざして




NO237.

2018・2・25

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス2月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

 フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

## ★三宮を語る会開催！未来の神戸を語り合い、三宮センター街、元町商店街の交流も

2月14日に三宮東通商店街の山田理事長の呼びかけで「三宮を語る会」が開催され、2丁目からは久利理事長と藤井理事が参加しました。当日は三宮一貫楼の3階のお部屋を借り切って、三宮センター街のメンバーだけでなく、元町商店街の若手の皆さんや、神戸市から商業の担当、都心再整備の担当の方々に参加され、街や官民の垣根を超えて神戸の未来について語り合いました。会の冒頭では、神戸市住宅都市局の手塚部長から、三宮バスターミナルや第一突堤基部の再開発の説明がありました。中でもこれから30年かけて進められる三宮駅前の開発事業、「えきまち空間」・「三宮クロススクエア」については三宮センター街にも大いに関係のある事業で、街衆としてこれからさらに深く関わっていくことになりそうです。また前副市長で、すまいまちづくり公社の理事長となられた鳥居さんもご参加され、ご就任のお祝いとこれまでお世話になったお礼を込めて山田理事長からワインが贈られました。三宮、元町の多世代が、神戸市役所の方々と交えて交流でき、これからは繋がる素晴らしい会になりました。



三宮クロススクエアイメージ  
(都心三宮NEWSより)

## ★おとな旅神戸ガイドツアー 三宮センター街の裏側(?)をご案内

おとな旅神戸は「お約束は、ワンランク上の“まち感覚”です」のキャッチフレーズで、普段は体験できないような事を地元の方が案内する神戸市のガイドツアーです。三宮センター街でも2014年から、毛利マークの藤井さんの案内で“隠れた老舗”、“港との意外な関係”など、色々な切り口でご案内させて頂いています。2018年も2月17日に12名の方が参加され、ガイドツアーが開催されました。今回は『街の裏側に潜入！？センター街の秘密を探る』と題して、センター街の1、2、3丁目の組合事務所に潜入！？一般の方が足を踏み入れることのない振興組合事務所で、センター街の取り組みを熱く語って頂きました。三宮の歴史に詳しいヤマダサイクルセンターの山田さんに昔の写真を見せて頂きながら、



街の歴史を教えてくださいました。また、2丁目では創業80年を超えるマイスター大学堂、創業100年を超える毛利マークをご案内し、お店の成り立ちやこだわりを伝えました。ツアーの最後は3丁目の組合事務所で英国屋のコーヒーを頂きながら、3丁目らしいアットホームな雰囲気、以前は「柳筋」と呼ばれていた頃から現在に至る三宮センター街3丁目の事を伺いました。ガイド役の藤井さんによると「毎回10名前後の限られた参加人数ですが、遠くは三重県などからもご参加頂き、少人数ならではの深い話をお伝えしています」とのこと。ガイドツアーがきっかけで、神戸ファン・三宮ファンが増えつつあるとの嬉しい結果を耳にします。

## ★「消費税の完納推進・e-Taxの利用推進」街頭広報キャンペーンが実施されました

春は多くのイベントがスタートする季節ですが、確定申告や消費税を納める季節でもあります。そこで2月13日(火)に公益社団法人神戸納税協会と神戸納税貯蓄組合連合会が主催となり、三宮センター街で上記の街頭広報キャンペーンが実施されました。お客様の「預り金」的な性格の消費税を期限内に完納しお客様の信頼に応える事は当然の義務であります。一方、神戸税務署としても納税者の利便性と行政運営の簡素・効率化を目的とした「e-Tax」の普及定着に強い決意で臨んでおられます。当日ははばタン、神戸市消防音楽隊の先導により、広報物品を御通行中の方々に配布しながら行進し、「消費税完納」と「e-Tax」の利用を呼びかけました。当日の来賓には神戸税務署長、大阪国税局徴収部長、神戸県民センター神戸県税事務所長、神戸市行財政局主税部中央市税事務局長なども来られており、大阪国税局の松山徴収部長の挨拶の後、三宮センター街3丁目納税組合の安藤組合長が代表して趣意書の朗読をされました。皆様からお預りした消費税を完納し、社会に還元することが大事ですね。



## ★ゴッホやはり凄いです

京都国立近代美術館で現在開催されていますゴッホ展に行ってみました。



「Van Gogh & Japan」とのテーマで開催されております今回のゴッホ展は若き日のゴッホが強く日本に憧れ、浮世絵を愛し、それによって彼の作品がどれ程すばらしくなっていたかを展示し、彼の作品のみならず影響を受けたであろう日本の浮世絵も同時に展示されており、見所満載でした。平日の午前中にもかかわらず会場内は人で大混雑しており、

人気の程を知りました。JR 京都駅から市バスで平安神宮まで30分程ですが、

地下鉄を利用して東山駅下車、徒歩約10分をお勧めします。駅から美術館までの小川の川沿いには京都の町屋風のお店があり、京都の風情に触れる事も楽しみの一つでした。お奨めのゴッホ展です。



(寝室)



(種まく人)

場所：京都国立近代美術館 開催期間：1月20日(土)～3月4日(日) 休館日は月曜日  
営業時間：午前9時30分～午後5時 但し金・土曜日は午後8時まで(入館は閉館の30分前まで)

## ★編集後記

先日、ファーストと街創り協議会の勉強会で姫路市とその周辺の播磨圏域の長年に亘る広域連携と地方創生への取り組みをお聞きして感心しました。神戸市のみならず、これから人口減少社会になって行く中で都市間競争の熾烈さを垣間見た気がします。そんな中、何度かお話ししている三宮駅前の再開発ですが西日本最大級の中・長距離バスターミナルが新たに整備されたり、多様な催しが可能な大規模ホールの建設、そういった観光施設のみならず、ビジネス・高品質な住宅棟・文化施設棟など多岐に亘るアイデアが浮かんで来ていて、楽しみは増えるばかりです。また神戸市は古き良き文化でありながら、昨今激減する町の銭湯を活性化するという細かな努力もされています(私事で恐縮ですが、筆者の妻も毎日銭湯通いしています!)。私達三宮の街衆も負けてはいられませんね。アートを中心とした「安心・安全・清潔」な街創りをさらに推し進め、まずこの4月に第13回となるストリートミュージアム収蔵式典に御期待ください!



神戸がかわる  
都心再整備